「手術室の安全確保」
チームコミュニケーションの重要性

三島社会保険病院　手術室

看護主任　杉崎　公英

施設紹介

手術室　3部屋

三島社会保険病院 杉崎公英 提供

スタッフ　科長を含め　7名

外科・整形外科・泌尿器科・脳外科・眼科・形成外科・内科

麻酔別
全身麻酔　約350件
腰椎麻酔　約350件
局所麻酔　約600件

目標 7　手術器具の残留

- 発生頻度
  - 1000 例に 1 例
    - 当院での手術件数 1300 例 / 年
- 発生に関与しているリスク
  - 緊急手術
  - 高度肥満
  - 想定外の手術術式の変更
    - 大量出血
    - 複数の手術チームの関与

カウントの一般的基準

・腹膜・後腹膜・骨盤・胸腔に及ぶ手術

・カウントのアイテム

手術器具・ガーゼ・鋭利物・雑多なアイテム

・術中に追加されたすべてのアイテム

・カウント方法

器械だし看護師と外回り看護師二人以上で
カウントし記録する

- カウントエリア
  手術野・中間エリア・器械台・後方テーブル
  後方テーブル・廃棄されたアイテム

- 禁止事項
  アイテムのカウントが一致する前の手術室
  からの持ち出し

- カウント結果はﾁｰﾑﾒﾝﾊﾞｰにしっかり伝える
  術者は口頭で承認をする

- 最終カウント後の再開創の場合は再度カウントを行う

- カウントのタイミング
  体腔が閉じられる前、体腔が閉じられた時
  皮膚が閉じられる時

- 使用するガーゼ
  X線不透過の入ったものを使う

- 創被覆ガーゼは、創が閉じられた後に術野に追加

- 術野から廃棄されたカウントガーゼは体腔が閉じられるまで、見えるように保管する

・ 鋭利物カウント（メス刃・縫合針など）
カウントはガーゼと同様に行う

術中、器械台上でそのまま自由な状態で放置しない

・ 器具カウント
カウントはガーゼと同様に行う

術野から落下もしくは不潔になった器械は手術終了まで手術室から持ち出さない

カウントの記録

- カウントシートまたは看護記録に記録
- カウントを行う職員の名前と資格を記録する
- カウント結果は正しい、正しくないと記録する
- カウントに食い違いや不正確の場合は取られた行動を全て記録する

カウントの食い違い

- カウントが食い違った時、直ちに再カウントを行う
- 再度カウントが一致しない場合は患者、床、ごみやリネンを含め行方不明のアイテムを探す
- カウントが一致しない場合はX線撮影を直ちに行い、結果を記録する

症例　1

泌尿器科　61歳　女性
病名　膀胱脱
術式　膀胱脱修復術（TVM）
麻酔　全身麻酔

さばきガーゼ体内遺残

三島社会保険病院 杉崎公英 提供

症例 1

- 新しい術式
- 外部からの術者
- 器械出し看護師がつかない

症例　2

脳外科　72歳　男性

病名　　左頸部内頸動脈狭窄症
術式　　頸動脈内膜剥離術
麻酔　　全身麻酔

マイクロシート創部遺残

三島社会保険病院 杉崎公英 提供

症例 2

- マイクロシートのカウントを実施していない
  - 原因

    昔からの慣習で、医師の最終確認でカウント完了にしていた。

    体腔内の手術ではないという気の緩みから、看護師側からの、医師への確認の声掛けが少なかった。

安全確認シート

患者 ID：136427
患者氏名：
月日：2011. 9. 28

器械出し：瑞
外回り：勝間田

追加時間	開始時	16：15	：	：	：	：	最終ガーゼ数
サバキ	10	10/20					20
ミクリッツ	3						3
紐ミク							
創縁ガーゼ							
追加者サイン							

カウント時間	開始時	15：50	16：15	17：00	：	：	最終カウント
サバキ	10	8/2	18/2	14/9			8/12
ミクリッツ	3	2/1		1/2			1/2
紐ミク							
創縁ガーゼ							
担当（器／外）	瑞 / 勝間田	瑞 / 勝間田	瑞 / 勝間田	瑞 / 勝間田			

時間	開始時	追加	14：10	14：35	：	：	最終カウント
セルシート 大	10枚	10枚	10/10				OK
中	10枚						OK
小	10枚	10枚		10/10			OK
3-0バイクリル	—	—					OK
3-0ブラッフシルク	—	T					OK
角針4	T						OK
担当（器／外）			瑞 / 勝間田	瑞 / 勝間田			瑞 / 勝間田

最終器械カウント（ OK ）・ガーゼカウント（ OK ）
確認しました。　サイン（器 瑞　・外 勝間田 ）

＊特記事項：

三島社会保険病院 杉崎公英 提供

三島社会保険病院 杉崎公英 提供